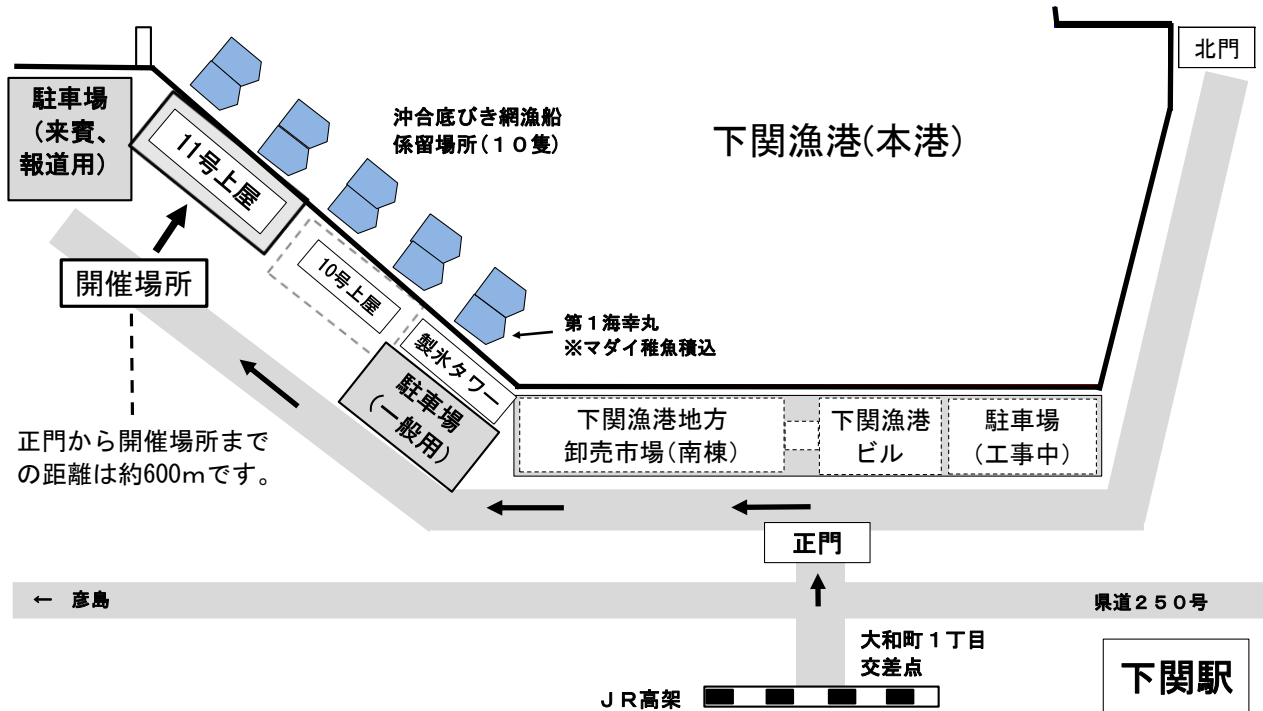


【位置図】



【参考】

(1) 沖合底びき網漁業

60～75トン型の漁船2隻が一組(1ヶ統)となり、萩市見島沖合から長崎県対馬周辺の海域で操業する底びき網漁業です。操業区域が東経128度以東であることから、「以東底びき網」とも呼ばれています。

5ヶ統(10隻)が下関漁港を拠点に操業しており(同漁港に水揚げ)、アカムツ、アンコウ、カレイ、タイなどを中心に漁獲しています。令和3年の水揚げ量は3,585トン、水揚げ金額は25億21百万円です。

(2) あんこう(鮫鯨)の水揚げ日本一

下関漁港の基幹漁業である沖合底びき網漁業の振興を図るため、平成15年10月に「下関漁港沖合底びき網漁業ブランド化協議会」を設立し、沖合底びき網漁業で水揚げされる魚種全般のPR、販路拡大に取り組んでいます。

あんこうは、平成14年の水揚げ量調査開始以降、「水揚げ日本一」の地位を守り続けていますので、特に力を入れています。

